

第54回社会福祉セミナー

「変革」を創り出す社会福祉

—分野横断・資源開発・ソーシャルアクション—

主催 公益財団法人 鉄道弘済会 後援 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

近年、分野横断的な支援の包括化や、地域における多様なネットワーク構築と新たな資源開発が政策として推進される中、社会福祉が担う役割への期待はますます高まっている。その一方で、縦割り支援への批判や、マクロ領域における福祉専門職の実践の弱さと存在感の希薄さを指摘する声も少なからず聞かれている。また、資源開発をめぐっても「サービスの開発」ばかりが強調され、地域住民の「共同性の開発」という側面は見落とされがちである。

本来、目の前の個人や家族の「困りごと」に寄り添う支援は、制度や所属組織の限界を乗り越え、地域や社会の構造的な矛盾や欠陥に働きかけることなしには貫徹し得ない。既存の「支援」の枠組みにとらわれず、人びとの多様で複雑な生きづらさに正面から向き合い、個別、地域、社会を貫く包括的な支援とアクションを展開するところこそ、社会福祉の専門性の根幹があるのではないだろうか。

そこで本セミナーでは、社会福祉の実践において看過されてきた多岐にわたる生活課題に焦点を当て、制度や専門性の壁を越境し、新たな領域を開拓しながら、個人と家族の支援、コミュニティづくり、政策づくりなど、あらゆるレベルにおいて必要な「変革」を創り出すための包括的な支援方法を検討してみたい。そして、地域や社会に対する働きかけ（ソーシャルアクション）を常に意識した社会福祉実践のあり方を展望してみたい。

●期 日 2017年7月28日(金)

●会 場 有楽町朝日ホール(東京都千代田区、有楽町マリオン11階)

●定 員 600名(定員になり次第締切) ●受講料 4,000円(学生は1,000円)

申込方法

鉄道弘済会ホームページ (<http://www.kousaikai.or.jp/>) からお申し込みください。同封の申込書にご記入のうえ、郵送またはFAXでのお申し込みも承っております。

お申し込みとともに、受講料をご送金ください。

■受講料の送金方法

- ①銀行振込 みずほ銀行 本店
(普通) 2155069
口座名 公益財団法人鉄道弘済会
- ②郵便振替 00140-8-143594
口座名 公益財団法人鉄道弘済会
振替用紙の通信欄に住所・氏名をご記入ください。
- ③現金書留 同封の申込書に必要事項をご記入のうえ、お送りください。

※受講証および領収書は、7月3日(月)から順次発送いたします。

※納入後の受講料は返却いたしかねますので、ご了承ください。

※学生の方は、当日受付にて学生証をご提示ください。

●事情により講師等が変更となる場合があります。

●ご昼食、ご宿泊等の手配は行っておりません。

●個人情報について 受講お申し込みの際してお預かりする個人情報は、受講証の発送、受講料の請求とご入金の確認、次回以降開催のご案内のみに使用いたします。

会場案内図

有楽町朝日ホール (有楽町マリオン11階)



交通

- JR(山手線・京浜東北線)有楽町駅、中央口または銀座口
- 東京メトロ(丸の内線・銀座線・日比谷線)銀座駅、C4出口
- 東京メトロ(有楽町線)有楽町駅、D7出口
- *いずれも徒歩2分。

ホール入り口

有楽町マリオン映画館チケット売り場横のエレベーター(★)で11階までお越しくください。

プログラム

9:50 10:20 10:30

12:00

13:30

17:00

受付	開会	基調対談	昼休憩	選択講座①
				選択講座②
				選択講座③

(敬称略)

基調対談

10:30~12:00

「変革」を目指す社会福祉の専門性

—性という切り口から分野横断的に実践を考える—

フリー・ソーシャルワーカー みやもとせつこ 宮本節子

立教大学 教授 ひらのまさあき 平野方紹

昼休憩

12:00~13:30

12:45~13:15 大ホールにおいて本法人の事業紹介を行います。

(総合福祉センター「弘済学園」)

公益財団法人鉄道弘済会は各種の社会福祉事業を運営しております。

(2017年4月1日現在)

機関・施設別	箇所数
義肢装具サポートセンター	1
障害児入所施設(知的)等	9
保育所	21
認定こども園	3
児童養護施設	1
老人福祉施設	5
福祉所	6
福祉資料室	1
計	47

公益財団法人鉄道弘済会は公益事業の運営を本旨とする財団法人として、1932年(昭和7年)に設立されました。

本法人の行う公益事業には、身体障害者福祉、児童福祉、知的障害児・者福祉、老人福祉などがあります。民間におけるわが国唯一の切断障害者の総合的リハビリテーション施設や全国に24か所の認可保育所・認定こども園、総合福祉センター「弘済学園」などの福祉施設の運営をはじめとして、社会福祉に関する理論と実践をつなぐ専門誌『社会福祉研究』の発行、視覚障害者用録音図書の製作奉仕者に対する顕彰事業等を行っております。

民間公益事業団体として、その時代の要請に応え、先駆的な役割を果たすとともに、ニーズの変化にも対応し、事業内容の充実に努めてまいりました。これらの公益事業に要する費用の不足分は、資産を有効活用した賃貸事業などの収益事業の益金等をもって充当しております。

選択講座① 社会福祉領域における実践の「包括化」戦略

「我が事、丸ごと」を掲げた共生型地域社会の実現が政策基調となる中で、制度や組織、専門性の枠を超えた分野横断の包括的支援や、多職種・多機関連携によるネットワークの構築が社会福祉の重要課題となっている。しかし現実には、専門職にとって、あるいは組織で働く個々のワーカーにとって、制度や組織の壁を乗り越えることは容易ではない。複雑化・多様化する福祉ニーズに対し、社会福祉はいかにその支援を「包括化」していけばいいのだろうか。

そこで本講座では、自らの実践を全分野対応型に変革していく具体的な視点と手法、およびその展開戦略について参加者とともに考えていく機会としたい。

場作りネット 世話人 もと元 しま島 しょう生
 NPO法人よこはま地域福祉研究センター 副理事長・センター長 さ佐 つか塚 れい玲 こ子
 阪井土地開発株式会社 代表取締役 さ阪 い井 いひとみ
 コーディネーター：駒澤大学 准教授 か川 かみ上 とみ富 あ雄

選択講座② 地域の共同性に根差した資源開発

介護保険・生活困窮者対策等の制度改正の中で、既存の制度では対応できないニーズをもつ人びとの受け皿づくり、すなわち資源開発が地域福祉の急務となっている。しかし、新たな「サービス」を開発することにはさまざまな困難が伴う。そして、どんな斬新なサービスやプログラム開発も、住民の協働性や主体性に根差したものでなければ、いずれ空転することになるだろう。地域福祉の「資源」の豊富化を目指すために、コミュニティの共同性を丁寧に掘り起こし、それを支える実践が今、求められているのではないか。

そこで本講座では、既存のつながりを生かす・強化していく資源開発の方略について参加者とともに考えていく機会としたい。

まちなかドッグCAN 代表 お小 がわ川 さち幸 こ子
 認定NPO法人ハンズオン！埼玉 常務理事 にし西 かわ川 ただし正
 淡路市社会福祉協議会 参事 いわ岩 かず城 し志
 コーディネーター：関西学院大学 教授 ふじ藤 い井 ひろ博 し志

選択講座③ 当事者運動に社会福祉はどうかかわるのか

— 求められる役割 —

日本におけるソーシャルアクションはしばしば、「当事者」たちの生きづらさ、怒りや願いを起点として、それに共感する多様な市民のサポートを受けて展開される。従来からソーシャルアクションはソーシャルワークの専門性の1つとされてはきたものの、各種の運動においてソーシャルワーカーが存在感を発揮するケースは多いとは言えない。日々の個別の支援の延長線上に、制度や構造的な矛盾を見据えた実践に向かう構えを、ソーシャルワーカーはいかに獲得するかが問われている。

そこで本講座では、各社会福祉団体の実践から、社会福祉はどのように当事者の主体性を引き出しながら運動にかかわるのか、そして、当事者からはどのような役割が求められているのかを参加者とともに考えていく機会としたい。

臨済宗建長寺派廣徳寺 代表役員・住職 しの篠 もと本 こう耕 じ二
 社会福祉法人青丘社 事務局長 み三 うら浦 とも知 ひと人
 NPO法人Startline.Net 代表理事 さ佐 とう藤 ゆう悠 すけ祐
 コーディネーター：武蔵野大学 准教授 きの木 した下 だい大 せい生

【基調対談】

宮本節子 (みやもと せつこ)

(フリー・ソーシャルワーカー)

1943年生まれ。日本社会事業大学卒業後、地方公務員福祉上級職を16年務め、1989年から全国社会福祉協議会社会福祉研修センター専任教員、1995年から2004年まで日本社会事業大学附属日本社会事業学校専任教員としてソーシャルワーカー育成に携わる。現在、「ポルノ被害と性暴力を考える会」世話人として、女性や子どもに対するポルノ被害や性暴力を訴える社会活動に取り組んでいる。

平野方紹 (ひらの まさあき)

(立教大学コミュニティ福祉学部教授)

日本社会事業大学卒業、1980年埼玉県で福祉行政に従事し、1999年厚生省社会福祉専門官となる。埼玉県に帰任後、2003年日本社会事業大学助教授、2012年から立教大学准教授、2013年現職となる。

【選択講座①】

川上富雄 (かわかみ とみお)

(駒澤大学文学部准教授)

1990年同志社大学文学部卒業後、岡山県社会福祉協議会、広島県社会福祉協議会、日本社会事業大学、川崎医療福祉大学を経て現職。その間、日本社会事業大学大学院博士後期課程満期退学。専門は、地域を基盤としたソーシャルワークの展開、地域アセスメント、利用者権利擁護等。

元島 生 (もとしま しょう)

(場作りネット世話人、よりそいホットライン北越地域センター統括CO)

2011年、仲間とともに富山県高岡市にコミュニティハウスひとのまを設立。よりそいホットライン富山センターの立ち上げにかかわり、相談援助を行う中で、場作りの必要性を感じ、場作りネットを設立。実践や研究を行っている。

佐塚玲子 (さつか れいこ)

(NPO法人よこはま地域福祉研究センター副理事長・センター長)

慶應義塾大学卒、神奈川県立保健福祉大学大学院修了。横浜市内地域ケアプラザで、デイサービス・在宅介護支援センター等の仕事を経験した後、中間支援団体に入職し市民活動支援、福祉専門職の人材養成事業を担当。2012年よこはま地域福祉研究センターを設立。

阪井ひとみ (さかい ひとみ)

(阪井土地開発株式会社・株式会社かいしゃ・阪井建設株式会社代表取締役兼任)

約20年前、長期入院精神障がい者(社会的入院)に向けた退院促進や住宅のあり方を考えるようになったのをきっかけに、岡山県内を中心に社会的弱者(高齢者、障がい者、被虐待者、ホームレス等)への住宅支援活動を行っている。NPO法人おかやまUFE副理事長、NPO法人おかやま入居支援センター理事、NPO法人岡山県精神障害者家族会連合会常任理事等務める。

【選択講座②】

藤井博志 (ふじい ひろし)

(関西学院大学人間福祉学部教授)

専門分野は地域福祉論・地域福祉実践・コミュニティワーク。アクションリサーチ、フィールドワークを方法として、主に社会福祉協議会や地域活動団体、行政の現場にコンタクトし、新たな課題に対する実践開発の研究を行っている。

小川幸子 (おがわ さちこ)

(まちなかドッグCAN代表、民生委員・児童委員)

1960年盛岡市生まれ。1982年臨床検査技師として、公益財団法人に入社。1998年退社。2013年民生委員・児童委員となり、2014年～2016年に盛岡市地域福祉中核人材育成講座受講後、まちなかドッグCANを立ち上げ、代表を務める。

西川 正 (にしかわ ただし)

(認定NPO法人ハンズオン！埼玉常務理事、コミュニティワーカー)

学童指導員、出版社、NPO支援センター事務局長などを経て、2005年特定非営利活動法人ハンズオン！埼玉を設立。「おとうさんのヤキイモタイム」キャンペーンや市民参加型のまちづくりにかかわる一方で、研修などで講師やファシリテーターとして活動。大妻女子大学等で非常勤講師。

岩城和志 (いわき かずし)

(社会福祉法人淡路市社会福祉協議会参事・生活支援体制整備事業主任生活支援コーディネーター)

1974年生まれ。一宮町社会福祉協議会(現：淡路市社会福祉協議会)に入職後、1999年より地域福祉活動専門員として従事。地域の福祉課題を捉え、住民主体の計画化を進めることにより、地域ケアシステムや小地域福祉活動の推進に取り組んでいる。主な業務担当は組織化・計画活動、権利擁護、生活福祉資金担当。

【選択講座③】

木下大生 (きのした だいせい)

(武蔵野大学人間科学部准教授)

筑波大学大学院博士後期課程修了、博士(リハビリテーション科学)。知的障害者、マイノリティーへのソーシャルワーク支援研究を、ミクロ、メゾ、マクロ各視点から試みている。著書に『ソーシャルワーカーのジリツ』(生活書院)など。

篠本耕二 (しのもと こうじ)

(臨済宗建長寺派廣徳寺代表役員・住職、山梨県社会福祉士会ばあとなあ山梨運営委員)

東洋大学大学院福祉社会デザイン研究科博士後期課程修了、博士(社会福祉学)・社会福祉士・精神保健福祉士。約18年間社会福祉協議会の職員として勤務後、社会福祉士養成機関に勤務。現在、西武文理大学および白梅学園大学非常勤講師も兼ねている。

三浦知人 (みうら ともひと)

(社会福祉法人青丘社事務局長)

川崎南部民族差別をなくす地域活動に参画。1988年、神奈川県川崎市の公的会館として差別をなくすための「ふれあい館」が開設され、そのスタッフとして働く。館長を経て、現在運営母体の社会福祉法人青丘社事務局長。

佐藤悠祐 (さとう ゆうすけ)

(NPO法人Startline.Net代表理事)

1991年東京都生まれ。専門学校卒業後、介護福祉士となる。自身が性同一性障害当事者で、これまでの悩みを抱えていた経験を活かし、多様性のある福祉社会の実現を目指すNPO法人Startline.netを立ち上げ、全国で講演やイベントを行っている。

お申し込み・お問い合わせ先

公益財団法人鉄道弘済会 社会福祉第一部「社会福祉セミナー」係
〒102-0083 東京都千代田区麴町5-1 TEL 03-5276-0325 FAX 03-5276-3606
E-mail fukushikenkyuu@kousaikai.or.jp URL http://www.kousaikai.or.jp/